平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場会社名　テルモ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4543　URL　http://www.terumo.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役 社長　（氏名）新宅　祐太郎
問合せ先責任者（役職名）広報室長　（氏名）粂井　哲也　TEL 03-6742-8551
四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	288,914	18.3	49,875	3.7	46,319	8.0	21,962	△20.1
23年3月期第3四半期	244,241	2.2	48,100	△3.8	42,895	△14.8	27,482	△13.7

（注）包括利益　24年3月期第3四半期　376百万円　（△97.2%）　23年3月期第3四半期　13,382百万円　（—%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	115.67	—
23年3月期第3四半期	144.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	657,513	329,179	50.0	1,732.47
23年3月期	420,037	335,456	79.8	1,765.32

（参考）自己資本　24年3月期第3四半期　328,960百万円　23年3月期　335,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
24年3月期	—	17.00	—		
24年3月期（予想）				17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	383,000	16.7	62,600	△0.0	57,000	0.2	26,000	△19.6	136.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
年間想定レート；1ドル＝77円、1ユーロ＝108円
のれんの償却を含む

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 有

新規 3社 （社名） CardianBCT Holding Corp、CaridianBCT Inc.、Gambro, Inc. 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 有
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	189,880,260 株	23年3月期	210,876,260 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	716 株	23年3月期	20,994,926 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	189,880,342 株	23年3月期3Q	189,892,904 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 5
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 5
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 6
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 6
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 6
３．四半期連結財務諸表 …… 7
（１）四半期連結貸借対照表 …… 7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 9
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 9
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 10
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（４）セグメント情報等 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
（６）重要な後発事象 …… 12
４．補足情報 …… 13
所在地別収支 …… 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成23年４月１日から平成23年12月31日まで）における世界経済は、欧州債務問題が深刻化するに伴い、欧米先進国で景気停滞が長期化する一方、新興国の成長スピードにも足踏みが見られ、全体的に力強さを欠く展開となりました。わが国でも欧米での財政不安を受けた円高や新興国経済の減速等の影響を受け、震災以降の景気回復ペースが鈍化するなど、当社グループにとって厳しい経営環境となりました。

そのような中、世界の医療市場に目を転じれば、国民医療費の削減が共通の政策課題となっている先進国では、ＱＯＬ（生活の質）向上に加え、医療経済上の費用対効果を厳しく検証する流れが一段と強まっており、低侵襲医療機器へのニーズが高まっています。一方、新興国では医療水準の向上に伴う医療機器の需要拡大が底堅く推移しており、当社グループにとって強みを活かせる新たな成長機会が拡大しつつあります。

当社グループは、ＧＰ１“1 trillion Global Presence”「2020年までに、世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、平成24年３月期を初年度とする３カ年の中期経営計画「ＧＰ１－2013飛躍的成長に向けて」をスタートしました。この成長戦略の要諦は、研究開発・生産拠点のグローバル化を加速し、内部成長力を強化することに加え、平成23年４月に買収したCaridianBCT社との統合を推進することにより、両社の強みを最大限に活かし、飛躍的な成長を目指すことです。

生産拠点のグローバル化においては、海外への生産技術の移管を積極的に推進しながらも、国内生産拠点をグローバル生産体制の中で、ものづくりのコア技術の育成及び改良改善を支える生産技術を磨く、マザー工場として位置づけていきます。一方、CaridianBCT社との統合プロジェクトでは、営業拠点の統合などを速やかに進め、次年度からは新たに「テルモＢＣＴ」として事業を推進して行く予定です。

当社グループは、平成23年９月、創立90周年を迎えました。大正10年に北里柴三郎博士らが発起人となり設立され、これまで体温計の製造から医療の安全性を守るためのディスポーザブル製品の普及、高度医療を総合的に支える医療機器の開発へと活動の場を広げてきました。これからも医療ニーズにマッチした製品を開発、投入し、「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念を実現するため、グローバルな事業展開をさらに推進してまいります。

当第３四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間	当第３四半期連結累計期間	伸長率（%）	為替影響等除く伸長率（%）
売上高	244,241	288,914	18.3	22.6
売上総利益	127,164	153,989	21.1	26.8
営業利益	48,100	49,875	3.7	11.0
経常利益	42,895	46,319	8.0	－
四半期純利益	27,482	21,962	△20.1	－

（注）CaridianBCT社、Harvest社含む

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間	当第３四半期連結累計期間	伸長率（%）	為替影響等除く伸長率（%）
売上高	244,241	253,464	3.8	6.6
売上総利益	127,164	132,256	4.0	8.0
営業利益	48,100	50,376	4.7	10.5
経常利益	42,895	47,197	10.0	－
四半期純利益	27,482	24,289	△11.6	－

（注）CaridianBCT社、Harvest社除く

＜売上高＞
売上高は前年同期比18.3％増の2,889億円となりました。今期、買収を完了したCaridianBCT社とHarvest Technologies社を除く既存事業（以下、既存事業）では、前年同期比3.8％増の2,535億円となりました。

地域別

（単位：百万円）

地　　域	前第３四半期 連結累計期間	当第３四半期 連結累計期間	伸長率 （％）	為替影響除く 伸長率（％）
日　　本	133,891	141,870	6.0％	6.0％
欧　　州	41,079	42,576	3.6％	6.6％
米　　州	42,041	39,171	△6.8％	2.4％
アジア他	27,229	29,845	9.6％	16.5％
海　外　計	110,349	111,593	1.1％	7.5％

（注）CaridianBCT社、Harvest社除く

国内では、薬剤溶出型冠動脈ステント「Nobori」（ノボリ）が継続してシェアを伸ばし、売上を牽引するとともに、震災の影響により一時苦戦を強いられた輸液剤などホスピタル商品が徐々に回復を示した結果、国内売上高は前年同期比6.0％増の1,419億円となりました。
海外では、すべての地域でカテーテル商品群の売上が好調に推移しました。特に、中国、南米などの新興国では現地通貨ベースで前年同期比30％を超える伸長を達成するなど、全体を押し上げました。しかし円高進行による為替の影響を大きく受け、海外売上高は前年同期比1.1％増の1,116億円となりました。

＜売上総利益＞
売上総利益は前年同期比21.1％増の1,540億円となりました。既存事業では為替の影響を受けながらも、高収益品へのシフトならびに増産効果などにより前年同期比4.0％増の1,323億円となりました。

＜営業利益＞
営業利益は、企業結合による新規のれん償却などの影響があったものの、前年同期比3.7％増の499億円となりました。既存事業では、売上総利益の増加と一般管理費の効率運用などにより、前年同期比4.7％増の504億円となりました。

＜経常利益＞
経常利益は、急速な円高進行や、買収に伴う短期借入金増加による支払利息の影響があったものの、前年同期比8.0％増の463億円となりました。既存事業でも同様の影響がありながら、前年同期比10.0％増の472億円となりました。

＜四半期純利益＞
四半期純利益は、のれん償却の税負担の影響ならびに保有有価証券の評価損等により、前年同期比20.1％減の220億円となりました。既存事業では、前年同期比11.6％減の243億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下のとおりです。

（単位：百万円）

事業セグメントの名称		前第３四半期連結累計期間	当第３四半期連結累計期間	伸長率（%）	為替影響除く伸長率（%）
ホスピタル事業	売上高	115,540	113,528	△1.7	△0.8
	（国内）	93,428	91,705	△1.8	△1.8
	（海外）	22,112	21,822	△1.3	3.8
心臓血管領域事業	売上高	106,840	117,404	9.9	14.7
	（国内）	29,789	39,438	32.4	32.4
	（海外）	77,051	77,966	1.2	7.8
血液システム事業	売上高	18,394	19,044	3.5	7.4
	（国内）	7,784	7,798	0.2	0.2
	（海外）	10,610	11,245	6.0	12.8
ヘルスケア事業	売上高	3,359	3,486	3.8	4.4
	（国内）	2,889	2,927	1.3	1.3
	（海外）	470	559	18.9	23.8

（注）CaridianBCT社、Harvest社除く

＜ホスピタル事業＞

国内では、震災の影響により一時的に売上が減少していた輸液剤をはじめとする一部の商品で徐々に回復傾向が見られるとともに、慢性期市場向け商品である半固形栄養食品、Ｄ＆Ｄ（ドラッグ＆デバイス）分野での受託ビジネスが好調に推移し、前年同期比では依然、減収が続くものの、減収幅を着実に縮小させました。

海外では、引き続きアジア中南米地域が好調に推移し、現地通貨ベースでは売上を伸ばしたものの、為替の影響を大きく受けました。

その結果、ホスピタル事業の売上高は前年同期比1.7%減の1,135億円となりました。

＜心臓血管領域事業＞

国内では、薬剤溶出型冠動脈ステント「Nobori」（ノボリ）が継続して順調に売上を伸ばし、シェアを拡大するとともに、血管内超音波診断カテーテル「ViewIT」（ヴューイット）も堅調に売上を伸ばしました。

海外でも「Nobori」（ノボリ）は欧州、アジア、中南米地域で順調に売上を伸ばしたほか、米州ではＴＲＩ（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）の普及拡大に伴いカテーテル商品群が順調に推移し売上を伸ばしました。

その結果、心臓血管領域事業の売上高は為替の影響を受けながらも前年同期比9.9%増の1,174億円となりました。

＜血液システム事業＞

国内では、血液バッグの売上が復調し、前年同期比で増収に転じました。

海外では、引き続き欧州で血液自動製剤システム「TACSI」（タクシー）が好調に売上を伸ばし、事業全体を押し上げましたが、為替の影響を受け、血液システム事業の売上高は前年同期比3.5%増の190億円となりました。

＜ヘルスケア事業＞

国内では、震災による消費の低迷など影響を受けましたが、売上高は前年同期比3.8%増の35億円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,375億円増加して6,575億円となりました。

流動資産は51億円増加して2,416億円となりました。現金及び預金は98億円減少、受取手形及び売掛金が114億円増加、たな卸資産は82億円増加となりました。

固定資産は2,324億円増加して4,159億円となりました。有形固定資産は138億円増加、無形固定資産は2,318億円増加、投資その他の資産は132億円減少となりました。

（負債）

負債の部は2,438億円増加して3,283億円となりました。

流動負債は2,001億円増加して2,790億円となりました。短期借入金が2,000億円増加しております。

固定負債は436億円増加して493億円となりました。繰延税金負債が423億円増加しております。

（純資産）

純資産の部は、63億円減少して3,292億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ29.8ポイント減少し、50.0％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたこと、また一部投資有価証券を処分したことにより売却損が発生したこと等、これらの影響を業績予想の前提に含めることにより、平成23年10月27日に公表しました「平成24年３月期連結業績予想」を以下のとおり修正いたします。

（単位：百万円）

	従来予想	修正予想	増減額	前年比（%）
売上高	383,000	383,000	－	16.7
営業利益	62,600	62,600	－	△0.0
営業利益率	16.3%	16.3%	－	－
のれん償却前営業利益	70,000	70,000	－	9.1
のれん償却前営業利益率	18.3%	18.3%	－	－
経常利益	58,000	57,000	△1,000	0.2
当期純利益	32,500	26,000	△6,500	△19.6
当期純利益率	8.5%	6.8%	－	－
のれん償却前当期純利益	39,900	33,400	△6,500	△1.5
のれん償却前当期純利益率	10.4%	8.7%	－	－

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、CaridianBCT社の株式を新たに取得したため、同社及びその子会社24社を連結の範囲に含めております。また、Harvest社の株式を新たに取得したため、同社及びその子会社１社を連結の範囲に含めております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法について、平成10年４月１日以降取得の建物（附属設備を除く）及びリース資産を除き、定率法を採用しておりましたが、第１四半期連結会計期間より定額法に変更しています。

当社は、平成21年度より愛鷹工場、富士宮工場及び甲府工場において、新規投資を進めており、その主な内容は、愛鷹工場の新棟と生産設備、富士宮工場の新棟と生産整備及び、甲府工場の生産設備、それに関わる建物附属設備の拡張であります。

上記新規生産設備は、平成21年度より随時稼動を開始しており、本格的な稼動は平成23年度であることから、当該新規生産設備稼働による影響が大きく発生する当連結会計年度において減価償却方法の検討を行いました。当該生産設備、生産予定の各製品に類似した製品に関わる生産高について過年度推移を確認し、今後の生産見通しを確認しました。

その結果、各類似製品の生産高は長期安定的に推移しており、新規生産品についてもその計画生産高は安定的に増加すると予定しています。

一方、既存生産設備の工場ごとに生産設備全体の生産高及び修繕費について過年度の推移を確認するとともに、今後の見通しを検討した結果、生産高は長期安定的に推移し、生産設備の修繕費は長期平準的に発生する見込みであることが確認されました。

また、全ての海外生産拠点では定額法を採用しており、平成23年４月のCaridianBCT社の買収により、平成23年度において海外生産設備の重要性が増加しております。当該状況を踏まえ、第１四半期連結会計期間より、当社グループの有形固定資産の実態をより適切に反映するため、当社の生産設備（機械及び装置、工具、器具及び備品）と生産拠点として使用している建物、建物附属設備及び構築物について定額法を採用することが適切であると判断しました。

なお、定率法を採用していた国内連結子会社の生産設備、当社グループの生産に関連しない有形固定資産については、その金額的重要性を鑑みて同様に定額法へ変更しました。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第３四半期連結累計期間の売上総利益は2,375百万円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,972百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,794	73,970
受取手形及び売掛金	76,480	87,917
たな卸資産	57,673	65,913
繰延税金資産	7,797	8,203
デリバティブ債権	6,084	63
その他	5,406	6,563
貸倒引当金	△726	△1,051
流動資産合計	236,510	241,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,052	46,252
機械装置及び運搬具（純額）	29,861	35,942
土地	20,227	21,194
リース資産（純額）	950	1,138
建設仮勘定	10,442	14,972
その他（純額）	6,524	7,372
有形固定資産合計	113,059	126,871
無形固定資産		
のれん	20,191	134,072
顧客関連資産	－	80,487
その他	6,537	43,957
無形固定資産合計	26,728	258,518
投資その他の資産		
投資有価証券	28,895	17,118
繰延税金資産	8,136	7,537
その他	6,706	5,886
投資その他の資産合計	43,739	30,542
固定資産合計	183,527	415,932
資産合計	420,037	657,513

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,711	31,346
短期借入金	－	200,000
リース債務	294	364
未払法人税等	6,297	2,086
繰延税金負債	123	30
賞与引当金	5,001	2,731
役員賞与引当金	145	108
災害損失引当金	351	2
設備関係支払手形及び未払金	5,749	7,106
資産除去債務	560	840
その他	29,611	34,366
流動負債合計	78,846	278,983
固定負債		
リース債務	636	765
繰延税金負債	378	42,700
退職給付引当金	1,082	1,083
役員退職慰労引当金	586	202
資産除去債務	991	152
その他	2,060	4,444
固定負債合計	5,734	49,349
負債合計	84,581	328,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	59,030	52,103
利益剰余金	342,965	288,324
自己株式	△76,879	△2
株主資本合計	363,832	379,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,919	△2,906
繰延ヘッジ損益	3,611	0
為替換算調整勘定	△30,322	△47,275
その他の包括利益累計額合計	△28,630	△50,181
少数株主持分	254	219
純資産合計	335,456	329,179
負債純資産合計	420,037	657,513

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	244,241	288,914
売上原価	117,077	134,924
売上総利益	127,164	153,989
販売費及び一般管理費	79,064	104,114
営業利益	48,100	49,875
営業外収益		
受取利息	194	225
受取配当金	379	289
受取ロイヤリティー	108	115
持分法による投資利益	69	67
その他	368	818
営業外収益合計	1,121	1,515
営業外費用		
支払利息	56	536
売上割引	434	446
為替差損	5,150	2,837
たな卸資産処分損	196	788
その他	488	462
営業外費用合計	6,326	5,071
経常利益	42,895	46,319
特別利益		
固定資産売却益	8	13
貸倒引当金戻入額	1	0
災害損失戻入益	－	156
退職給付信託設定益	494	－
補助金収入	－	227
特別利益合計	504	397
特別損失		
固定資産処分損	303	75
投資有価証券売却損	－	1,562
投資有価証券評価損	19	7,754
役員退職慰労金	15	－
ゴルフ会員権売却損	－	5
特別損失合計	338	9,396
税金等調整前四半期純利益	43,060	37,320
法人税、住民税及び事業税	13,313	13,049
法人税等調整額	2,208	2,269
法人税等合計	15,521	15,319
少数株主損益調整前四半期純利益	27,539	22,000
少数株主利益	56	38
四半期純利益	27,482	21,962

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	27,539	22,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,371	△986
繰延ヘッジ損益	－	△3,611
為替換算調整勘定	△10,782	△17,026
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	0
その他の包括利益合計	△14,156	△21,624
四半期包括利益	13,382	376
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,362	411
少数株主に係る四半期包括利益	19	△35

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	ホスピタル事業	心臓血管領域事業	輸血関連事業	ヘルスケア事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	115,506	106,840	18,394	3,359	244,101	139	244,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	115,506	106,840	18,394	3,359	244,101	139	244,241
セグメント利益又は損失（△）	21,272	26,949	2,256	△895	49,583	△1,483	48,100

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,483百万円には、たな卸資産の調整額△786百万円、その他△697百万円が含まれております。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）
該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	ホスピタル事業	心臓血管領域事業	血液システム事業	ヘルスケア事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	113,528	118,672	53,226	3,486	288,914	－	288,914
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	113,528	118,672	53,226	3,486	288,914	－	288,914
セグメント利益又は損失（△）	22,127	24,934	2,520	80	49,663	211	49,875

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額211百万円には、たな卸資産の調整額△866百万円、その他1,078百万円が含まれております。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの名称の変更）

第１四半期連結会計期間より、従来の「輸血関連事業」セグメントの名称を「血液システム事業」に変更しております。

（有形固定資産の償却方法の変更）

有形固定資産の償却方法については、第１四半期連結会計期間より定額法に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、第３四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「ホスピタル事業」で1,770百万円、「心臓血管領域事業」で891百万円、「血液システム事業」で286百万円、「ヘルスケア事業」で23百万円増加しております。

４．報告セグメントの資産に関する情報

第１四半期連結会計期間において、CaridianBCT社を買収したことにより、連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第３四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、「血液システム事業」において257,755百万円増加しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成23年10月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式20,996,000株を消却いたしました。これにより、資本剰余金6,926百万円、利益剰余金69,957百万円及び自己株式76,884百万円がそれぞれ減少しております。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

所在地別収支

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	海外計	欧州	米州	アジア他	連結
売 上 高	133,897	110,343	40,078	45,040	24,970	244,241
営業利益	30,647	17,452	7,339	5,332	4,683	48,100

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	海外計	欧州	米州	アジア他	連結
売 上 高	141,899	147,014	41,394	78,251	27,368	288,914
営業利益	26,748	23,126	6,956	11,265	4,904	49,875